

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		国語		科目名	現代の国語
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	『新編 現代の国語』（大修館書店）
1	必修	2	70	補助教材	
授業の概要		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			
学習到達目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			
求められる力（目指す生徒像）		各テーマに沿って、他者に対して自分の言葉で論理的に伝えようとしている。他者の意見を読んだり、聞いたりして自分の意見を深めようとしている。			

観点別評価（％）							
	授業姿勢	課題提出	活動評価				合計
知識・技能		50	50				100
思考・判断・表現		50	50				100
主体的に取り組む学習態度	100						100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	・ことばの学びに向けて	本文読解。論点を共有し、話し合いの仕方や結論の出し方を学ぶ。 「『変わる』ことを楽しもう」 「コミュニケーションは技術だ」		○	○
5月	・ことばを正しく使う	正しい文章を書くための知識を学ぶ。	○		○
	「ことばの使い分け」他	時と場に応じた言葉の使い分けについて学ぶ。	○		○
	・伝わるように話す	テーマを決めて話し合う。		○	○
6月	・説明の仕方をとらえよう	説明文の読解を通して、わかりやすい文の書き方や接続表現、文章構成について学ぶ。	○		○
	・話し上手コンテスト	伝わるように話す練習をする。		○	○
	・友達のよさを見つけよう	ミニインタビュー			○
7・8月	・友達のよさを紹介しよう	聞き取ったことをまとめる	○		○
	・わかりやすく説明しよう	簡単な説明文を書く		○	○
	・夏休みの思い出を伝えよう	ショートスピーチに挑戦する		○	○
9月	・意見文を書こう	意見文を書く		○	○
	・依頼状・礼状を書こう	相手を動かす文を書く	○		○
	・論理を読み取ろう	「オカピの胃袋はいくつか」他		○	○

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	・テーマを決めて話し合おう	コミュニケーションの仕方、話し合いについて学ぶ。	○		○
	・説得力を高める	意見文の基礎について学び、執筆してみる。 ミニ討論会を行う。	○		○
11月	・対話マスターになろう	対話のレッスン・聞き取りのレッスン	○		○
	・本のPOPを作ろう	本のPOPを作る。		○	○
12・1月	・情報を吟味しながら読む。	「情報の力関係」、他	○		○
	・レポートを書こう	テーマに沿ってレポートを書く。		○	○
	・見学旅行の企画書をつくろう	魅力的な企画書を書こう		○	○
2月	・見学旅行のプレゼンをしよう	プレゼンテーションの仕方を学び、実践する。		○	○
3月	・学校の魅力を紹介しよう	「料理のレシピを書こう」		○	○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		国語		科目名	言語国語
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	『新編 言語文化』（大修館書店）
Ⅰ	必修	2	70	補助教材	『漢字ボックス』（浜島書店）
授業の概要		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合い力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
学習到達目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			
求められる力（目指す生徒像）		漢字の読み書きをはじめ、高校1年生に必要な語彙力を身につけ、論理的な文章を正確に読み取ることができる。物語的な文章では、筆者の考え方や登場人物の心情を的確に理解できる。			

観点別評価（％）								
	定期試験	小テスト	課題提出	単元テスト	授業姿勢			合計
知識・技能	50	20		30				100
思考・判断・表現	50		30	20				100
主体的に取り組む学習態度			30		70			100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	・ことばと出会う 「言葉の森を育てよう」 ・古文に親しむ 「いろは歌・古文冒頭選」	本文読解・音読 言葉について考える 本文読解・暗唱 古典の基礎基本を学ぶ	○	○	○
5月	・漢文に親しむ 「格言」 ・ことばと出会う 「漢字と仮名の使い分け」	本文読解・音読 漢文の基礎基本を学ぶ 本文読解・音読 日本語表記の特徴について考える。	○	○	○
6月	・古文に親しむ 「児のそら寝」 ・現代に生きる言葉 「守株」	本文読解・音読 古典のきまりを理解し、作品を読み味わう。 本文読解・音読 漢文の基礎基本をもとに、内容を読み取る。	○	○	○
7・8月	・表現を味わう 「どんかつ」 ・随筆を楽しむ 「徒然草」 ・現代に生きる言葉 「借虎威」	本文読解・音読 本文読解・音読 本文読解・音読		○	○
9月	・表現を味わう 「一瞬の風になれ」 ・随筆を楽しむ 「枕草子」 ・古人に学ぶ 「論語」	本文読解・音読 POP制作 本文読解・音読 テーマ作文執筆 本文読解・音読	○	○	○

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	・文化を見つめる 「足し算の文化」 ・物語の広がりを 「平家物語」 ・漢文を楽しむ 「鶏鳴狗盗」	本文読解・音読 本文読解・音読	○	○	○
11月	・文化を見つめる 「ほどほどのデザイン」 ・旅への想い 「土佐日記」	本文読解・音読 本文読解・音読		○	○
12・1月	・漢文を楽しむ 「人面桃花」 ・物語を受け継ぐ 「羅生門」 ・旅への想い 「おくのほそ道」	本文読解・音読 本文読解・音読 本文読解・音読	○	○	○
2月	・近代文学に触れる 「夢十夜」	本文読解・音読 言葉を絵で表現する		○	○
3月	・詩歌の調べ 「春のうた／夏のうた／秋のうた／冬のうた」	内容理解 俳句制作	○		○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		地理歴史		科目名	歴史総合
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	歴史総合 近代から現代へ（山川出版社）
I	必修	2	70	補助教材	歴史総合 要点チェック（山川出版社）
授業の概要		世界と日本の近現代史を通して社会的事象の歴史的な見方や考え方を養う。 年間を通して一斉授業を中心に適宜グループワーク、小テストをおこなう。			
学習到達目標		基礎的・基本的内容を身につける。 自ら課題を追求・解決する活動ができる。			
求められる力 （目指す生徒像）		歴史の基礎的基本的事項や流れについて理解したことを副教材や資料を元に表現する（書く・話す）ことができる。			

観点別評価（％）								
	定期試験	小テスト	レポート・課題	授業姿勢	ノート記入			合計
知識・技能	90	10						100
思考・判断・表現	10		90					100
主体的に取り組む学習態度				50	50			100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	オリエンテーション 1 結びつく世界	講義を聞く・板書を写す		○	○
		小テスト・ワーク学習	○		○
		グループ討議・調べ学習	○	○	○
5月	2 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	講義を聞く・板書を写す		○	○
		小テスト・ワーク学習	○		○
		グループ討議・調べ学習	○	○	○
6月	3. 明治維新と日本の立憲体制①	講義を聞く・板書を写す		○	○
		小テスト・ワーク学習	○		○
		グループ討議・調べ学習	○	○	○
7月	3. 明治維新と日本の立憲体制②	講義を聞く・板書を写す		○	○
		小テスト・ワーク学習	○		○
		グループ討議・調べ学習	○	○	○
8月	4. 帝国主義の展開とアジア①	講義を聞く・板書を写す		○	○
		小テスト・ワーク学習	○		○
		グループ討議・調べ学習	○	○	○
9月	4. 帝国主義の展開とアジア②	講義を聞く・板書を写す		○	○
		小テスト・ワーク学習	○		○
		グループ討議・調べ学習	○	○	○

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	5. 第一次世界大戦と大衆社会	講義を聞く・板書を写す 小テスト・ワーク学習 グループ討議・調べ学習	○ ○	○ ○	○ ○ ○
11月	6. 経済危機と第二次世界大戦①	講義を聞く・板書を写す 小テスト・ワーク学習 グループ討議・調べ学習	○ ○	○ ○	○ ○ ○
12・1月	6. 経済危機と第二次世界大戦② 7. 戦後の世界秩序と日本の改革	講義を聞く・板書を写す 小テスト・ワーク学習 グループ討議・調べ学習	○ ○	○ ○	○ ○ ○
2月	8. 冷戦と世界秩序	講義を聞く・板書を写す 小テスト・ワーク学習 グループ討議・調べ学習	○ ○	○ ○	○ ○ ○
3月	9. グローバル化する現代 10. 現代の課題	講義を聞く・板書を写す 小テスト・ワーク学習 グループ討議・調べ学習	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名	数学		科目名	数学 I	
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	最新 数学 I (数研出版)
I	必修	3	105	補助教材	3ROUND 数学 I + A (数研出版)
授業の概要	1年間通して、数学 I の全範囲を学習する。 クラス編成はホームルーム単位で行う。				
学習到達目標	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を培う。				
求められる力 (目指す生徒像)	各分野(計算・論理・関数・図形・統計)の考え方の理解や公式の活用を目指す。数学的な見方や考え方を探究し続けるとともに、ノートやプリント演習など作業に集中して取り組む主体性を身につける。				

観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	レポート・課題	授業姿勢	ノート記入		合計
知識・技能	90	10					100
思考・判断・表現	60	10	20		10		100
主体的に取り組む学習態度		20	30	30	20		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	中学校の復習 第1章 数と式 第1節 数と式 1. 多項式 2. 多項式の加法・減法・乗法	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 多項式の計算ができる	○		○
			○		○
			○		○
5月	3. 展開の公式 4. 式の展開の工夫 5. 因数分解 6. いろいろな因数分解	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 工夫を要する展開や 因数分解の計算ができる	○	○	○
			○	○	○
				○	○
6月	第2節 実数 7. 実数 8. 根号を含む式の計算	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ルートのついた計算ができる	○	○	○
			○	○	○
7月	第3節 1次不等式 9. 不等式 10. 不等式の性質 11. 1次不等式の解き方 12. 連立不等式 13. 不等式の利用	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 不等式の計算ができる	○		○
			○		○
				○	○
8月	第2章 集合と命題 1. 集合と部分集合 2. 共通部分、和集合、補集合 3. 命題と集合 4. 命題と証明	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 集合について理解する	○		○
			○		○
				○	○
9月	第2章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1. 関数 2. 関数とグラフ 3. 2次関数のグラフ 4. 2次関数の最大・最小 5. 2次関数の決定	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 関数を理解し、2次関数のグラフが描ける	○		○
			○		○
				○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第2節 2次方程式と2次不等式 6. 2次方程式 7. 2次関数のグラフとx軸の共有点 8. 2次不等式とその利用	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 2次方程式・2次不等式が解ける	○		○
			○	○	○
			○	○	○
11月	第4章 図形と計量 第1節 三角比 1. 鋭角の三角比 2. 三角比の利用 3. 三角比の相互関係 4. 三角比の拡張 5. 三角比が与えられたときの角	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 三角比を理解し、距離や高さが求められる	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
12・1月	第2節 正弦定理・余弦定理 6. 正弦定理 7. 余弦定理 8. 三角形の面積 9. 図形の計量	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 正弦定理・余弦定理を理解し、長さや角の大きさが求められる	○	○	○
			○	○	○
			○	○	○
2月	第5章 データの分析 1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばり 4. データの相関 5. 相関係数	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 データの代表値が求められる	○		○
			○		○
			○	○	○
3月	6. 分割表 7. 仮説検定の考え方	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 仮説検定の考えが理解できる		○	○
				○	○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		数学		科目名	数学A
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	最新 数学A(数研出版)
I	必修	2	70	補助教材	3ROUND 数学 I +A(数研出版)
授業の概要		1年間通して、数学Aの単元のうち、「場合の数と確率」と「図形の性質」を学習する。 クラス編成はホームルーム単位で行う。			
学習到達目標		基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を培う。			
求められる力 (目指す生徒像)		「場合の数と確率」や「図形の性質」の学習を通して、事象の総数や起こりやすさ、図形の長さや角度を求めることについて考える。数学的な見方や考え方を探究し続けるとともに、ノートやプリント演習など作業に集中して取り組む主体性を身につける。			

観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	レポート・課題	授業姿勢	ノート記入		合計
知識・技能	90	10					100
思考・判断・表現	60	10	20		10		100
主体的に取り組む学習態度		20	30	30	20		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 1 集合 2 集合の要素と個数 3 樹形図、和の法則、積の法則	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 場合の数が数えられる	○ ○ ○		○ ○ ○
5月	4 順列 5 円順列と重複順列 6 組合せ	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 場合の数が数えられる	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
6月	第2節 確率 7 確率の意味 8 確率の計算 9 確率の基本性質	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 確率の計算ができる	○		○
7・8月	10 和事象の確率 11 余事象の確率 12 独立な試行の確率 13 反復試行の確率	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 確率の計算ができる	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○
9月	14 条件付き確率 15 期待値	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 条件付き確率、期待値の計算ができる	○ ○	○ ○	○ ○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質 1 角の二等分線と比 2 三角形の外心、内心、重心	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 三角形の性質が理解できる	○ ○	○ ○	○ ○
11月	3 チェバ・メネラウスの定理 第2節 円の性質 4 円周角の定理 5 円に内接する四角形	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 円の性質が理解できる	○ ○	○	○ ○ ○
12・1月	6 円と接線 7 接線と弦の作る角 8 方べきの定理 9 2つの円	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 円の性質が理解できる	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
2月	第3節 作図 10 基本の作図 11 いろいろな作図、研究	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 作図ができる	○ ○	○ ○	○ ○
3月	第4節 空間図形 12 空間における直線と平面 13 多面体	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 空間の直線、平面の関係が理解できる		○ ○	○ ○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		理科		科目名	物理基礎
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	新編 物理基礎(数研出版)
I	必修	2	70	補助教材	新編 物理基礎準拠サポートノート(数研出版)
授業の概要		物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。			
学習到達目標		物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などの技能を身につける。また、物理基礎の学習を通して、物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と力を養う。			
求められる力 (目指す生徒像)		・基本的な物理用語、物理現象、公式等を理解し、それを適切に使用・表現できる。 ・基本的な物理演算ができ、物理現象を定量的に表現することができる。 ・適切な実験操作、レポート作成、発表ができる。			

観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	グループワーク	レポート	提出物	自己評価		合計
知識・技能	60	40						100
思考・判断・表現	60	20	10	10				100
主体的に取り組む学習態度			30	30	30	10		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 1 速度 2 加速度	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト	○	○ ○	○ ○
5月	第1章 運動の表し方 3 落体の運動 第2章 運動の法則 1 力とのはたらき	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト	○	○ ○	○ ○
6月	第2章 運動の法則 2 力のつりあい 3 運動の法則 4 摩擦を受ける運動	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト	○	○ ○	○ ○
7・8月	第2章 運動の法則 5 液体や気体から受ける力 第3章 仕事と力学的エネルギー 1 仕事	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト	○	○ ○	○ ○
9月	第3章 仕事と力学的エネルギー 2 運動エネルギー 3 位置エネルギー 4 力学的エネルギーの保存の法則	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト	○	○ ○	○ ○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 1 熱と物質の状態 2 熱と仕事	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト	○	○ ○	○ ○
11月	第3編 波 第1章 波の性質 1 波と媒質の振動 2 重ね合わせの原理	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト	○	○ ○	○ ○
12・1月	第2章 音 1 音の性質 2 発音体の振動と共振・共鳴	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト	○	○ ○	○ ○
2月	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗 1 電気の性質 2 電気と電気抵抗 3 電気とエネルギー	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト	○	○ ○	○ ○
3月	第2章 磁場と交流 1 電流と磁場 2 交流と電磁波	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト	○	○ ○	○ ○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		理科		科目名	化学基礎			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	新編 化学基礎(数研出版)			
1	必修	2	70	補助教材	新課程新編化学基礎準拠サポートノート (数研出版)			
授業の概要		化学の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。						
学習到達目標		物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などの技能を身につける。また、化学基礎の学習を通して、物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と力を養う。						
求められる力 (目指す生徒像)		・基本的な化学用語・元素記号・化学式等を理解し、それを適切に使用・表現できる。 ・基本的な物質量の計算や化学反応式を理解し、それを適切に使用・表現できる。 ・適切な実験操作、レポート作成、発表ができる。						
観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	課題提出	レポート	活動評価			合計
知識・技能	60	30	10					100
思考・判断・表現	60	20		20				100
主体的に取り組む学習態度	10	10	30	20	30			100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	・混合物と純物質 ・物質とその成分	一斉授業			○
		課題演習		○	○
		小テスト	○	○	
5月	・物質の三態と熱運動 ・原子とその構造	一斉授業			○
		課題演習		○	○
		小テスト	○	○	
6月	・イオン ・元素の周期表	一斉授業			○
		課題演習		○	○
		小テスト	○	○	
7・8月	・粒子の結合 ・イオン結合とイオンからなる物質① ・イオン結合とイオンからなる物質②	一斉授業			○
		課題演習		○	○
		小テスト	○	○	
9月	・分子と共有結合 ・共有結合の結晶 ・金属結合と金属	一斉授業			○
		課題演習		○	○
		小テスト	○	○	

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	・原子量・分子量・式量 ・物質 ・溶液の濃度	一斉授業 課題演習 小テスト	○	○ ○	○ ○
11月	・化学反応式と物質	一斉授業 課題演習 小テスト	○	○ ○	○ ○
12・1月	・酸・塩基 ・水の電離と水溶液のpH ・中和反応と塩	一斉授業 課題演習 小テスト	○	○ ○	○ ○
2月	・中和滴定 ・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤	一斉授業 課題演習 小テスト			
3月	・金属の酸化還元反応 ・酸化還元反応の利用	一斉授業 課題演習 小テスト			

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		保健体育		科目名	体育
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)
I	必修	3	105	補助教材	
授業の概要		様々な種目を通し、自らの体力を高めるとともに、集団行動に必要な技能を習得する。各種目のスキルテストを実施し、運動の基礎基本を身につける			
学習到達目標		各種目の基礎・基本をもとに、周囲と協力し練習やゲームに取り組むことができる。自主的・自律的に集団行動をとることができる。			
求められる力 (目指す生徒像)		集団での行動に対する責任感。 自己の成長を目指した継続力。			

観点別評価(%)								
	活動観察	スキルテスト	ノート記入	授業姿勢	グループ学習			合計
知識・技能	30	30	20	10	10			100
思考・判断・表現	10	10	30	20	30			100
主体的に取り組む学習態度	20	10	20	20	30			100

年間学習計画(前期)						
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度	
4月	○オリエンテーション ○体づくり運動 ○集団行動	ペアワーク・グループワーク ワークシート		○ ○	○ ○	
5月	○新体カテスト ○陸上競技I(短距離走、長距離走)	ペアワーク・グループワーク スキルテスト 記録会	○	○ ○	○ ○ ○	
6月	○ダンス(現代的なリズムのダンス)	グループワーク・ディスカッション ワークシート 発表会	○	○ ○	○ ○	
7・8月	○選択I ・陸上(走幅跳／砲丸) ・器械運動(マット)	ペアワーク・グループワーク スキルテスト 記録会	○	○	○	
9月	○球技I 男子:サッカー 女子:バレーボール	グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト	○	○ ○	○ ○	

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	○球技 男子:バドミントン／バスケットボール 女子:バスケットボール／卓球	グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト ゲーム	○ ○	○ ○	○ ○
11月	○選択II-① ・球技(バレーボール／バスケットボール ／バドミントン／卓球) ・武道(柔道)	グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト ゲーム	○ ○	○ ○	○ ○ ○
12・1月	○体育理論 スポーツの歴史的発展と変容 スポーツの技術、戦術、ルールの 変化	グループワーク・ディスカッション ワークシート	○	○ ○	○
2月	○選択II-② ・球技(バレーボール／バスケットボール ／バドミントン／卓球) ・武道(柔道)	グループワーク・ディスカッション ワークシート スキルテスト ゲーム	○ ○	○ ○	○ ○ ○
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		保健体育		科目名	保健
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）
I	必修	I	35	補助教材	現代高等保健体育ノート
授業の概要		個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。			
学習到達目標		健康で安全な生活を送るための知識や能力を身に付けることができる。			
求められる力 （目指す生徒像）		課題やグループ学習に責任を持って取り組む姿勢。 協働的な取り組みを通して、コミュニケーションを図り、自己理解・他者理解を深める。			

観点別評価（％）								
	小テスト	グループ学習	課題提出	授業姿勢	ノート記入			合計
知識・技能	50		30		20			100
思考・判断・表現		20	40	20	20			100
主体的に取り組む学習態度	20	20	10	20	30			100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	○日本における健康課題の変遷 ○健康の考え方と成り立ち	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
5月	○ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ○現代における感染症の問題 ○感染症の予防	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
6月	○事故の現状と発生要因 ○交通事故防止の取り組み（交通安全講話）	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
7・8月	○性感染症・エイズとその予防 ○生活習慣病の予防と回復 ○身体活動・運動と健康	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
9月	○安全な社会の形成 ○応急手当の意義と救急医療体制 ○心肺蘇生法 ○日常的な応急手当	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	○食事と健康 ○休養・睡眠と健康	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
11月	○がんの予防と回復 ○喫煙と健康	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
12・1月	○飲酒と健康 ○薬物乱用と健康	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○
2・3月	○精神疾患の特徴 ○精神疾患への対応安全な社会づくり	ペアワーク・グループワーク 学習ノートの作成 レポートの作成 小テスト	○	○ ○ ○	○ ○ ○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		芸術		科目名	音楽 I
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	高校生の音楽 I
I	選択	2	70	補助教材	MUSIC NOTE
授業の概要		歌唱、器楽による基礎・基本的な技術力・表現力の向上、またそれらによって生まれる、楽しみ喜びを味わう。多様な音楽に興味・関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。			
学習到達目標		音楽の幅広い活動を通して、技術面のみならず表現活動の素晴らしさ、楽しさを味わう。			
求められる力 (目指す生徒像)		1 客観的な観点から、多様な音楽の良さや音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ることができる。 2 基本的な楽典を理解することができ、演奏に活かすことができる。			

観点別評価 (%)							
	技能試験	課題提出	活動評価	ポートフォリオ			合計
知識・技能	70	20		10			100
思考・判断・表現	30	40	20	10			100
主体的に取り組む学習態度		40	50	10			100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	○歌唱 (校歌・二部合唱)	・校歌を覚えて歌えるようにする ・ハーモニーづくり(発声・音程など)	○ ○	○	○
5月	○楽曲紹介 ○楽典・聴音	・楽曲分析、解説、資料作成 ・音楽のつくりや構成を理解	○	○	○
6月	○リコーダー (ソロ・アンサンブル)	・基本的な奏法の確認 ・複数パートでの演奏の仕方	○	○	○
7・8月	○鑑賞 (舞台芸術:ミュージカル) ○創作	・楽曲の構造や歴史的文化的背景の学習 ・様々な場面における意見交流 ・キーボードの基本的奏法	○ ○	○	○
9月	○創作	・音階のつくり ・5音音階から創作	○	○	

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	○器楽 (文化等、三線)	・歴史的背景 ・音色の工夫と奏法の習得	○	○	○
11月	↓				
12・1月	○歌唱 (合唱)	・選曲、役割分担 ・表現の工夫 ・効果的な練習方法		○ ○ ○	○
2月	↓				
3月	↓	・発表	○		

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		芸術 I		科目名	書道 I
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	『書道 I』（光村図書）
I	選択	2	70	補助教材	『高校硬筆の練習』（教育出版）
授業の概要		古典作品を臨書し、古典作品の特徴を捉え、筆の使い方や、文字の書き方の表現を学ぶ。その学んだことを生かしながら、扇子やファイルなどの創作作品を作成する。			
学習到達目標		古典作品の線質、字形の構成・疎密感・抑揚、全体構成等を表現できる。古典作品の特徴を生かし、自分の考えや思いを表現をする。			
求められる力（目指す生徒像）		筆の機能を理解して古典作品の特徴（線質・字形等）を紙面に表現できる。古典作品の特徴を生かし、自分の考えや思いを表現することができる。			

観点別評価（％）								
	授業姿勢	課題提出	活動観察					合計
知識・技能		70	30					100
思考・判断・表現		70	30					100
主体的に取り組む学習態度	100							100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	篆刻	名前の篆書体を調べ、授業で作る印を作る。	○	○	
5月	（楷書）孔子廟堂碑 （楷書）九成宮醴泉銘	伸びやかな点画、向勢で丸みがある書風を表現する。 直線的で、背勢である書風を表現する。	○ ○	○ ○	
6月	ファイル制作 （楷書）雁塔聖教序 （楷書）顔氏家廟碑	孔子廟堂碑、九成宮醴泉銘の表現を使い、クリアファイルを制作する。 運筆や筆圧の変化を表現する。 蚕頭燕尾を表現する。	 ○ ○	 ○ ○	○
7・8月	（楷書）牛橛造像記 扇子作り	鋭角的な点画を表現する。 雁塔聖教序、顔氏家廟碑、牛橛造像記の表現を用いて、扇子を制作する。	○ ○	○	○
9月	（行書）蘭亭序 （行書）争坐位文稿	行書の特徴を知り、線と線のつながりを意識する。 力強い書風である顔真卿の行書を学ぶ。	○ ○	○ ○	

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	（隷書）曹全碑	隷書の特徴を知り、蔵鋒を用いて表現をする。	○	○	
11月	ポスター制作	興味のある本のタイトルを行書、隷書、篆書を使って表現する。		○	○
12・1月	（仮名）平仮名・変体仮名 （仮名）蓬萊切	字の変遷を知り、平仮名・変体仮名について学ぶ。 仮名の古典作品を書き、短歌の書き方について知る。	○ ○	○ ○	
2月	百人一首制作	札に百人一首の和歌を書き、自分の書いた作品で百人一首をする。	○		○
3月	漢字仮名交じりの書 カレンダー制作	パフォーマンスの映像を見て、漢字仮名交じりの書の構成などを知る。 漢字仮名交じりの書を使って、カレンダーを制作する。		○ ○	○ ○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		外国語(英語)		科目名	英語コミュニケーションⅠ
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	All Aboard! English CommunicationⅠ(東京書籍)
I	必修	4	140	補助教材	Eラーニングで身につける初級英語・入門(ニューブレイン・アライアンス)
授業の概要		英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基本的な能力を養う。			
学習到達目標		簡単な物語や身近な事に関する文章や指示を理解することができる。また、英語を使って簡単なやりとりをしたり、自分の意見を述べたり、文章を書くことができる。			
求められる力 (目指す生徒像)		よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、自分や他人のことについての情報を伝える際に活用することができる。また、簡単なやりとりを支援が得られればすることができる。			

観点別評価(%)								
	単元テスト	小テスト	定期試験	Pテスト	課題提出	習熟度テスト		合計
知識・技能	20	40	40					100
思考・判断・表現			60	40				100
主体的に取り組む学習態度					70	30		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	Lesson 1【be動詞、一般動詞、否定文、疑問文、過去形】	各種テスト(単元・単語・文法)	○		
	Breakfast around the World 【単元の目標】好きな食べ物について、英語で述べるができる。	Pテスト(目上紹介・好きな食べ物) 課題提出、習熟度テスト(英検5級)		○	○
5月	Lesson 2 【現在進行形、過去進行形】	各種テスト(単元・単語・文法)	○		
	Australia's Cute Quokka 【単元の目標】好きな動物について、英語で述べるができる。	Pテスト(好きな動物) 課題提出、習熟度テスト(英検5級)		○	○
6月	Lesson 3【助動詞:can, will, must, should, have to, can't, won't】	各種テスト(試験・単元・単語・文法)	○	○	
	A Train Driver in Sanriku 【単元の目標】ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べるができる。	Pテスト(ある場所への行き方など) 課題提出、習熟度テスト(英検5級)		○	○
7・8月	Lesson 4【to不定詞(名詞の働き、副詞の働き、形容詞の働き)、接続詞】	各種テスト(単元・単語・文法)	○		
	A Miracle Mirror 【単元の目標】行ってみたい場所について、英語で述べるができる。	Pテスト(行ってみたい場所) 課題提出、習熟度テスト(英検4・5級)		○	○
9月	Lesson 5【動名詞、「…に～をする」、「…に～してあげる」】	各種テスト(試験・単元・単語・文法)	○	○	
	Learning from the Sea 【単元の目標】将来の夢について、英語で述べるができる。	Pテスト(将来の夢) 課題提出、習熟度テスト(英検4・5級)		○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	Lesson 6【受け身】 A Funny Picture from the Edo Period	各種テスト(単元・単語・文法) Pテスト(好きな絵) 課題提出、習熟度テスト(英検4級)	○	○	○
	【単元の目標】好きな絵について、英語で述べるができる。				
11月	Lesson 7 【比較表現(比較級・最上級・原級)】 A Diary of Hope	各種テスト(試験・単元・単語・文法) Pテスト(関心のある人物) 課題提出、習熟度テスト(英検4級)	○	○	○
	【単元の目標】関心のある人物について、英語で説明することができる。				
12・1月	Lesson 8【現在完了形(経験・継続・完了)、「…を～と呼ぶ」など】 A Door to a New Life 【単元の目標】人の生活を豊かにする	各種テスト(単元・単語・文法) Pテスト(人の生活を豊かにするロボット) 課題提出、習熟度テスト(英検3・4級)	○	○	○
	ロボットについて考え、英語で提案				
2月	Lesson 9【現在分詞、過去分詞】 Fighting Plastic Pollution 【単元の目標】環境を守るために	各種テスト(試験・単元・単語・文法) Pテスト(プラスチックのごみ問題について自分たちにできること) 課題提出、習熟度テスト(英検3・4級)	○	○	○
	できることについて、英語で述べるができる。				
3月	Lesson 10【関係代名詞(who, which)、仮定法過去】 Pigs from across the Sea 【単元の目標】海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べるができる。	各種テスト(単元・単語・文法) Pテスト(海外の文化や社会に対する理解を深める活動) 課題提出、習熟度テスト(英検3・4級)	○	○	○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		情報		科目名	情報I
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	『最新情報 I 』(実教出版株式会社)
I	必修	2	70	補助教材	『最新情報 I 学習ノート』(実教出版株式会社)
授業の概要		情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
学習到達目標		様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。			
求められる力 (目指す生徒像)		情報と情報技術を適切に活用する力、情報社会に主体的に参画する態度を身につける。			

観点別評価(%)							
	授業姿勢	課題提出	活動評価	定期試験			合計
知識・技能		10	20	70			100
思考・判断・表現		10	20	70			100
主体的に取り組む学習態度	30	30	40				100

年間学習計画(前期)						
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度	
4月	・オリエンテーション	・コンピュータ教室の利用法を理解する				○
	・第1章 情報社会と私たち	・コンピュータに関する基本操作を練習する	○			○
5月	1 情報社会	・情報社会の特性を理解する		○		○
	2 情報社会の法規と権利	・知的財産権について理解する		○		○
6月	・第2章 メディアと情報デザイン					
	1 メディアとコミュニケーション	・社会の中で利用されている情報デザインについて理解する		○		○
7・8月	2 情報デザイン	・情報を正確にわかりやすく伝える方法について理解する		○		○
	3 情報デザインの実践	・報告書やレポート、論文を作成するための手順について理解する	○			○
9月	4 実習 I	・プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する	○	○		○
	5 実習 II	・Webページ作成の方法について理解する	○	○		○
	前期期末考査		○	○		

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第3章 システムとデジタル化	・デジタルについて理解する		○	○
	2 情報のデジタル化	・コンピュータの仕組みについて理解する		○	○
11月	第4章 ネットワークとセキュリティ	・情報通信ネットワークの構成やネットワークを効率的に利用するための取り決めについて理解する		○	○
12・1月	第5章 問題解決とその方法 実習 III	・表計算ソフトの活用方法について理解する	○		○
2月	第6章 アルゴリズムとプログラミング	・アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する	○	○	○
	1 アルゴリズムとその表記 後期期末試験		○	○	
3月	実習 IV	・変数を使用したプログラムを作成する	○	○	○
		・関数を使用したプログラムを作成する	○	○	○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		総合		科目名	ベーシックスタディ
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	
I	必修	I	35	補助教材	デジタル教材「すらら」・『漢字ボックス』
授業の概要		義務教育段階の国語、数学、英語の学び直しを行うとともに、高等学校での教科・科目の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。			
学習到達目標		常用漢字を用い、自らの活動についての確に表現できる。英語のbe動詞と一般動詞の否定文・疑問文を用いて簡単なやりとりができる。基本的な計算方法を理解し、正確に計算できる。			
求められる力 (目指す生徒像)		家庭学習習慣を身に付け、常用漢字を日常的に使おうとしている。学習課題に主体的に取り組み、課題を自ら設定できる。級友と学び合いに取り組むなど、他者と協働する意欲がある。			

観点別評価(%)							
	漢字テスト	活動報告書	課題達成率	挑戦課題			合計
知識・技能	100						100
思考・判断・表現		100					100
主体的に取り組む学習態度			70	30			100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	オリエンテーション	概要説明、「すらら」初期設定など			
	漢字テスト、数学①	加法と減法、乗数と除数	○		○
	漢字テスト、数学②	素数と因数分解	○		○
5月	漢字テスト、数学③	累乗と符号の変化、逆数	○		○
	漢字テスト、数学④	プレテスト、数学①～③の復習	○		○
	漢字テスト、数学⑤	数学①～③の確認テスト	○	○	○
6月	漢字テスト、英語①②	be動詞・一般動詞(現在形)	○		○
	漢字テスト、英語③	be動詞・一般動詞(過去形)	○		○
	漢字テスト、英語④	プレテスト、英語①～③の復習	○		○
7・8月	漢字テスト、英語⑤	英語①～③の確認テスト	○	○	○
	定着度測定テスト	国語、数学①～⑤、英語①～⑤			
	漢字テスト、数学⑥⑦	方程式・加減法・代入・連立方程式	○		○
9月	漢字テスト、数学⑧⑨	I次関数、プレテスト、⑥～⑧の復習	○		○
	漢字テスト、数学⑩	数学⑥～⑧の確認テスト	○	○	○
	漢字テスト、英語⑥	現在進行形・過去進行形	○		○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	漢字テスト、英語⑦ 漢字テスト、英語⑧⑨ 漢字テスト、英語⑩	助動詞(can, mustなど) 不定詞、プレテスト、⑥～⑧の復習 漢字、英語⑥～⑧の確認テスト	○ ○ ○	○	○
11月	定着度測定テスト 漢字テスト、数学⑪ 漢字テスト、数学⑫	国語、数学⑥～⑩、英語⑥～⑧ 式の展開 因数分解	○ ○		○ ○
12・1月	漢字テスト、数学⑬⑭ 漢字テスト、数学⑮ 漢字テスト、英語⑪⑫	プレテスト、数学⑪～⑫の復習 漢字、数学⑪～⑫の確認テスト 不定詞、動名詞	○ ○ ○	○	○ ○ ○
2月	漢字テスト、英語⑬ 漢字テスト、英語⑭ 漢字テスト、英語⑮	不定詞・動名詞の復習 プレテスト、英語⑪～⑫の復習 漢字、英語⑪～⑫確認テスト	○ ○ ○	○	○ ○ ○
3月	定着度測定テスト 1年間の振り返り	国語、数学⑪～⑮、英語⑪～⑫ 振り返りシート			

チャレンジ課題(配信予定)					
配信予定	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	国語①:主語と述語、修飾語	主語と述語に関する学習			○
5月	国語②:主語の省略、言葉のつながり	主語の省略と接続詞に関する学習			○
6月	国語③:文末表現	著者の主張を読み取るための 文末表現に関する表現			○
7月	国語④:一文の図式化	一文を図式化し、内容を把握する学習			○
8月	国語⑤:言葉のつながりを把握する	言葉と言葉のつながりを把握する学習			○
9・10月	国語⑥:接続助詞と文末表現	接続助詞と文末表現に関する学習			○
11・12月	国語⑦:一文のキーワードを把握する	キーワードを把握する学習			○
1・2月	国語⑧:著者の主張を把握しよう	著者の主張を把握する学習			○